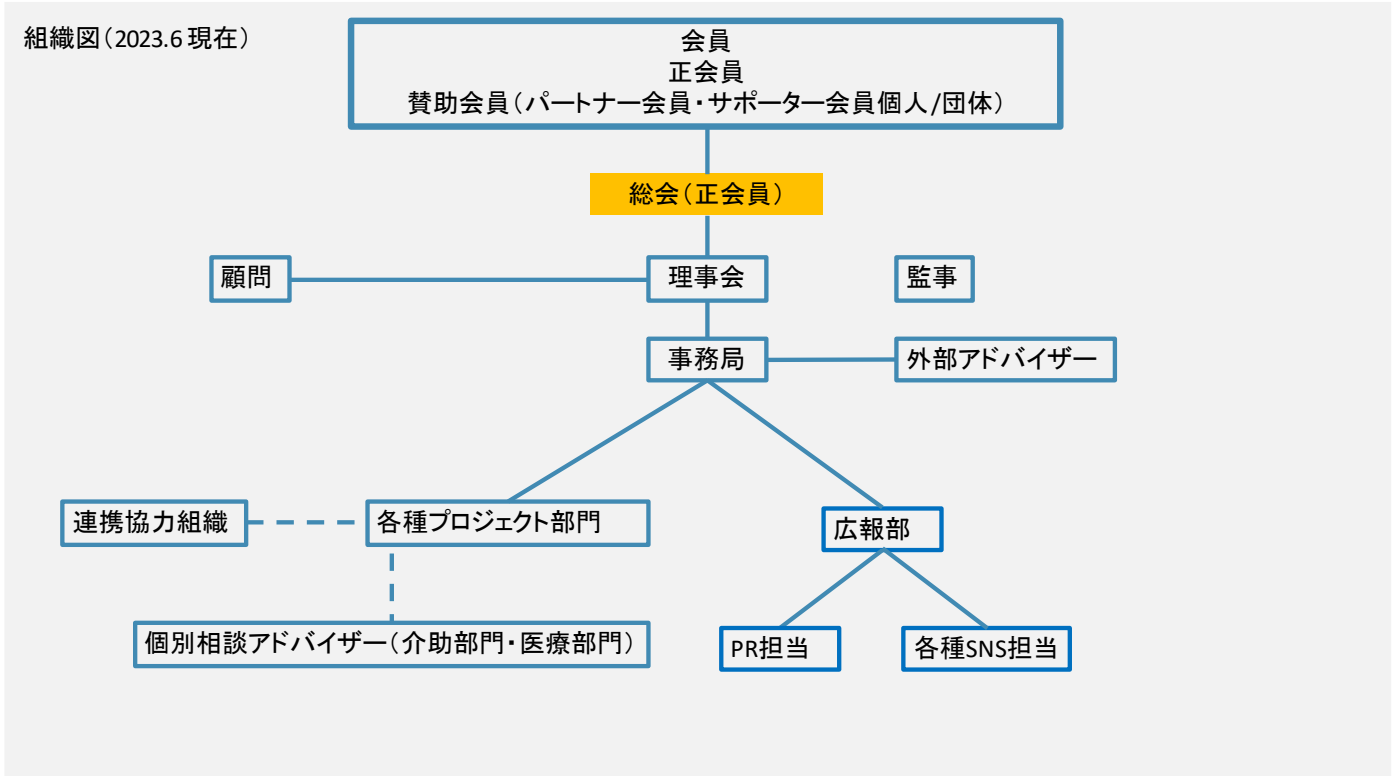


2023 年度事業計画

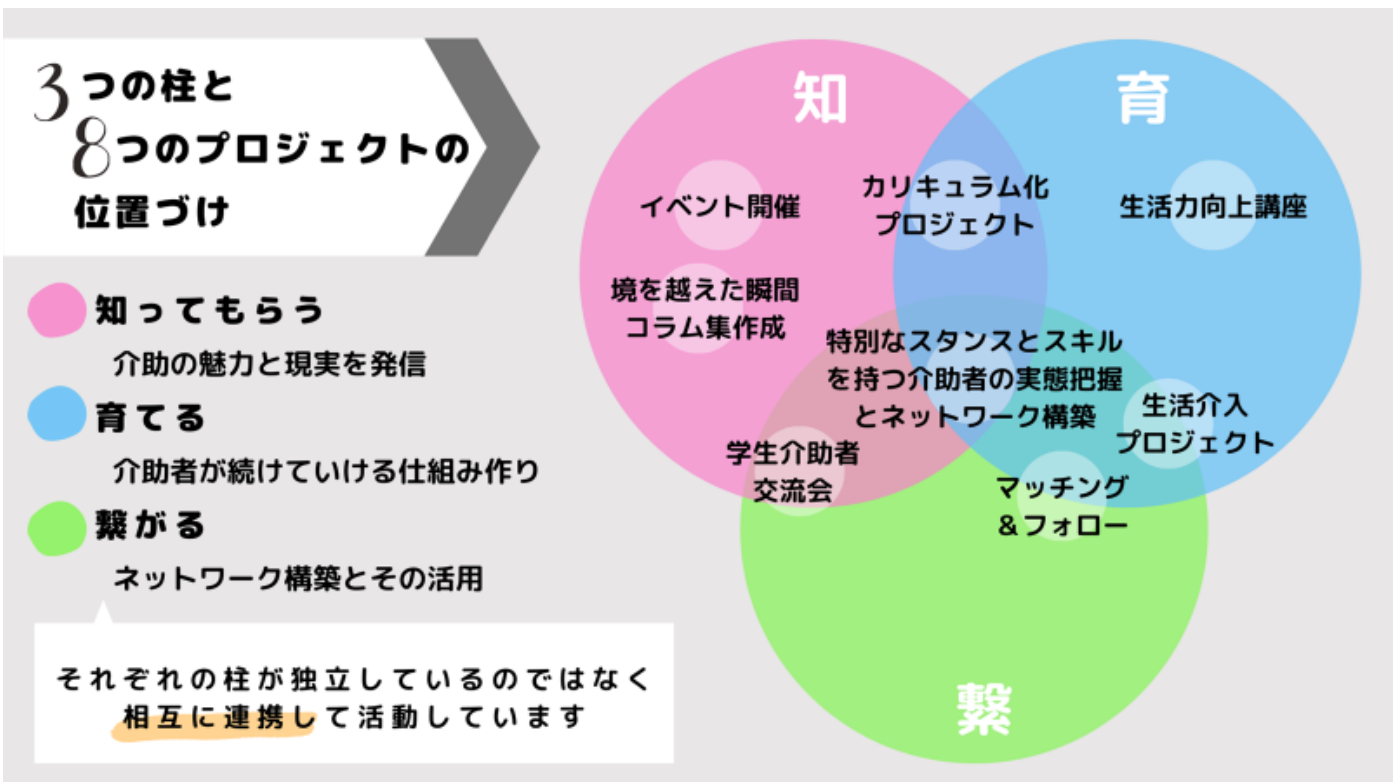
(2023 年 4 月 1 日 - 2024 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人境を越えて

●組織図



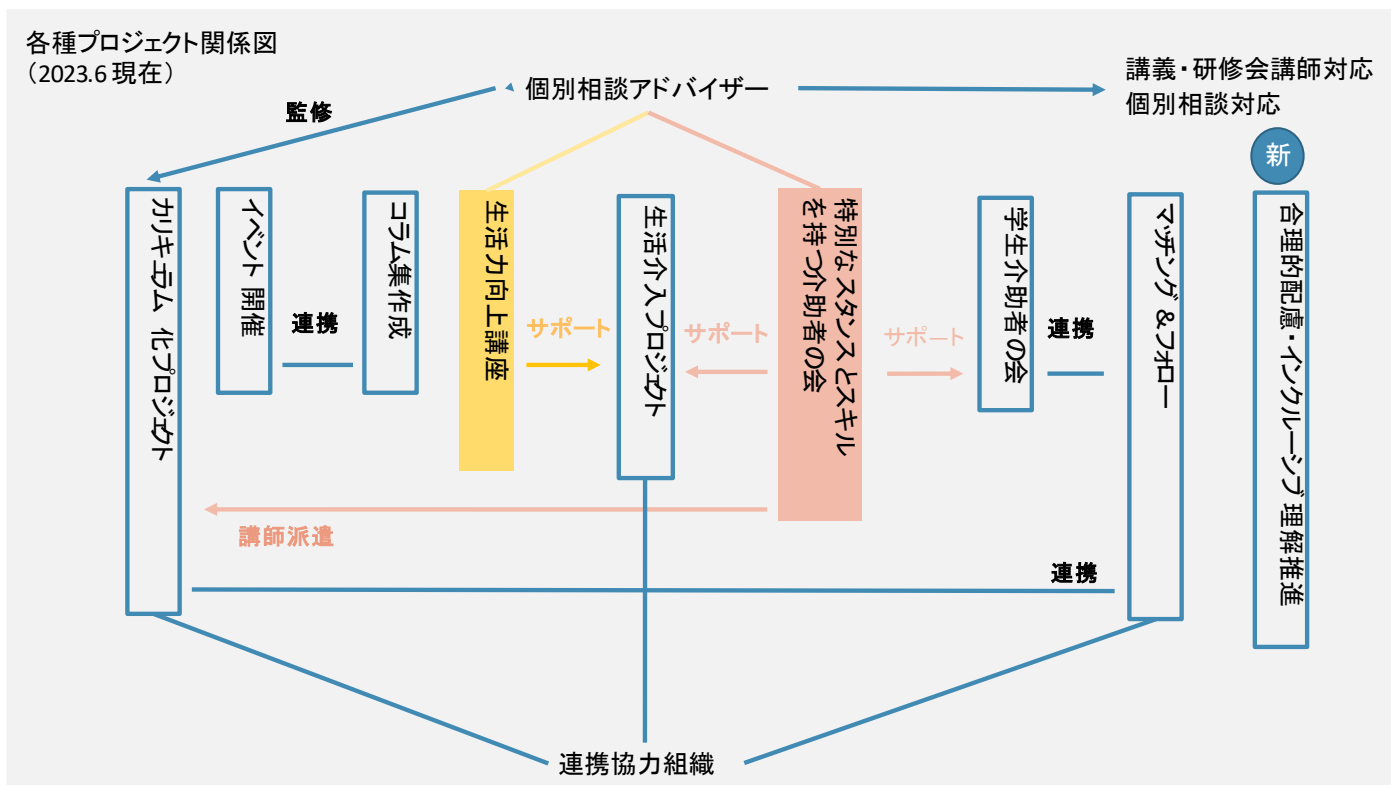
●3つの柱と各種プロジェクトの位置づけ



1. 事業実施の方針

昨年度は、各プロジェクトの仕組み化、新規パートナー会員・サポーター会員獲得に向け SNS の活用を大きな課題として取り組んできた。その結果、各種プロジェクトはそれぞれが仕組み化され継続発展に向けての土台作りが可能となった。特にカリキュラム化プロジェクトを通じて開催地域の当事者、介助者との新しいネットワークができたことは何よりの成果と考える。また、公式 SNS として Instagram・facebook・Twitter・YouTube・note を活用した活動発信は、広く一般への理解への一助にもつながったと考える。今年度は、3つの柱の中核を担う「特別なスタンスとスキルを持つ介助者の会の実態把握とネットワーク構築プロジェクト」を中心とし、プロジェクト間の繋がりや連携を深め、各プロジェクトがより発展性、持続可能な取り組みとなることを目指していく。

●各種プロジェクト関係図



2. 事業の実施に関する事項

1)プロジェクト1 【知】【育】カリキュラム化プロジェクト.....予算 6,313,160 円

目的:保健・医療・福祉を目指す学生の土台形成

事業計画【日本財団助成事業】

助成金を活用したモデルカリキュラムの開催 4 校、全額大学予算内でのカリキュラム開催 1 校の実施を主軸に、新規講師陣の育成、カリキュラム内容のブラッシュアップを行っていく。また、大学予算内で可能な実施方法の検討、質を担保した状態での波及に必要な要素を明示していく。

2)プロジェクト2 【知】イベント開催.....予算 1,904,480 円

目的:地域で暮らす当事者とそれを支える介助者の現実と魅力を発信する。

事業計画:【日本財団助成事業】

当事者と介助者をメインターゲットにした「境を越えてフォーラム 2023～介助者だって当事者だ。Vol.3～」開催(6月17日)と広く一般を対象にしたイベント(2024.2)を実施予定。

3)プロジェクト3 【知】コラム集.....予算 612,370 円

目的:障がいや福祉の世界と無縁の方をつなげる媒体となり、執筆者を通して境の活動の広がりを伝える

事業計画:【キリン福祉財団助成事業】

Vol.2 でコラボした「障がい者の世界への留学体験記」を第 2 弾として織り交ぜた Vol.4 を発行する。尚、予算には、

昨年度未発行の Vol3(自費)を含む

- 4)プロジェクト4 【育】生活力向上講座……………予算 2,280,000 円
目的:地域で暮らす当事者・家族・支える介助者・医療者等へ知識と経験の波及
事業計画:
生活力向上講座 2023 の開催(6 月-8 月にかけて全 17 講座)と事業所、チーム向けの個別講習会の開催(随時)。
重度訪問介護医療卒講義内容作成・講師。個別相談へのメール、オンライン、現地訪問によるアドバイスの実施。
- 5)プロジェクト5 【育】【繋】生活介入プロジェクト……………予算 5,068,000 円
目的:介助者の募集、育成、継続に焦点をあてた第三者的視点での総合サポート
事業計画:
2019 年度から実施しているモデル介入事例(9 例)から介入マニュアルの再検討、コーディネーター育成に向けた検討会を実施。継続介入 2 例へのフォローアップとして生活力向上講座講師、特殊なスタンスとスキルを持つ介助アドバイザーらとの連携した対応を行っていく。
- 6)プロジェクト6 【繋】【知】【育】特別なスタンスとスキルを持つ介助者の実態把握とネットワーク構築・予算 1,313,800 円
目的:重度障がい者への専門的ケアの体系化と介助者育成のための仕組み作り
重度訪問介護の専門性の追求と一般への理解を目指す
事業計画:【日本財団助成事業】
特別なスタンスとスキルを持つ介助者の視点を軸にした動画を作成し、重度障がい者の専門的ケアができる介助者の育成方法確立のための土台を作る。また、地域で暮らす当事者に長年関わってきた介助者向けに個別の聞き取り調査を実施、地域で暮らし続けられる当事者チーム構成に必要な要素を明示していく。当事者の関係性構築を含む個別相談に対する個別相談対応の実施。
- 7)プロジェクト7 【繋】【知】学生介助者交流会……………予算 2,285,500 円
目的:学生介助者の一般への周知と学生介助者のフォローアップ
事業計画:【三菱財団助成事業】
オンラインにて、全国の学生介助者らが自らの悩みを共有し学生介助経験者にアドバイスを受けられる場(非公開)を開催(4 月・6 月・9 月予定)。重度訪問介護資格を活用した学生介助者の育成と継続の仕組み作り(三菱財団助成事業)として、全国の学生介助者、学生介助経験者、当事者を対象とした 1 泊 2 日のシンポジウム開催(zoom 配信にて一般公開)と講習会&ワークショップの開催(助成金獲得により開催)
- 8)プロジェクト8 【繋】【育】マッチング&フォロー……………予算 106,000 円
目的:介助をしてみたい学生と介助者が欲しい当事者のマッチングとフォロー
事業計画:【三菱財団助成事業】
学生介助を行ってみたい全国の学生とその地域で介助者を欲している当事者とのマッチングの実施。カリキュラムプロジェクト受講生からの問い合わせも増えているため、当事者の方の状況を事前に把握し迅速なマッチングを行っていく。また、フォローとして学生介助者交流会への参加を促し継続支援をしていく。
- 9)プロジェクト9 合理的配慮・インクルーシブ理解促進(難病患者と共生社会実現のための活動支援) 予算 300,000 円
目的:難病患者自身が講師となり自らの疾患や生活を知ってもらうこと、共に考えてもらう機会を作りながら難病当事者の地域での暮らしを通し、合理的配慮の理解を推進一般向けコンテンツを作成する。
事業計画:【JPA 助成事業】
義務教育向けインクルーシブ運動会の開催と「難病当事者と考える合理的配慮ってなんだろうーもしもお客様が障がいのある方だったらー」動画制作(通年)の実施。

3. 共催事業

1) 海老原宏美基金

主催: 海老原宏美基金

共催内容: 事務運営サポート・広報活動

2) 障がい当事者&介助従事者の今を【音楽劇】で学ぼう！～職業選択のための基礎知識講座・共生社会って何？～

主催: Aya Arts Company(麻布市民自主企画公募)

共催内容: 企画・構想案サポート、登壇者・講師派遣

開催計画: 8月の平日2日間の連続企画

3) 岡部宏生著書『境を越えて Part1 このまま死ねるか!?!』

主催: 岡部宏生

共催内容: イベント運営・広報活動

開催日: 4月24日(月) 18:30-21:00

4. 事務局運営

1) 各種プロジェクト統括・調整(別紙/スケジュール表)

2) 理事会(年3回)・総会(年1回)管理運営

理事会: ①5月13日(土)総会前内容確認 ②11月11日(土)前期の報告 ③2月10日(土)後期活動報告

総会: 6月13日(土)

3) 会計管理: 助成金4か所の別途報会計書含む

4) 助成金申請・報告書作成: 日本財団/キリン福祉財団/JPA/三菱財団等予定

5) パートナー・サポーター会員向け交流会開催

内容: Bar 境(5名限定、ゲストとのオンライン非公開茶話会)

開催頻度: 毎月1回、第3金曜日 19:00-20:30を基本とし定期開催

6) パートナー・サポーター会員向け情報発信

内容: 定期配信: 活動報告(毎月末/年2回)・境を越えた瞬間(電子版)・Bar 境開催のお知らせ

不定期配信: 各種プロジェクト広報・報告

7) HP・公式 SNS 作成・発信(図)

公式SNS関係図と2023フォロワー数目標		SNS	担当者	内容
ホームページ		Facebook	SNS担当	【独自】当事者インタビュー
note		Twitter	SNS担当	【独自】活動や日常の様子
Facebook		Instagram	SNS担当	【独自】漫画掲載
Twitter		HP	作成チーム	2023年8月完成予定
Instagram		YouTube	事務局	イベント、生活力向上講座、活動報告会等
YouTube		note	事務局	毎月活動報告・コラム集(電子版発行) 各種プロジェクト周知・報告
LINE		LINE	事務局	学生向け情報発信

プラットフォーム	6月	11月	目標
Facebook	869名	924名	1000名
Twitter	841名	854名	1000名
Instagram	195名	248名	300名
YouTube	—	184名	300名
LINE	—	28名	100名

8) 個別相談依頼受付・対応

相談内容に応じて個別相談アドバイザー(医療部門・介助部門)や境を越えてネットワークを活用した相談者対応

9) 個人・団体向け活動説明会の実施

新規会員・ネットワーク構築を目的とした対面やオンラインを活用した活動紹介と意見交換。

10) 講演・講義・研修依頼受付・対応: 依頼内容に即した講師派遣と対応

11) 学会報告・各種イベントへの参加

12) メディア対応

以上